

新版 中学生の道徳

明日への扉

観点別特色一覧

1 ~ 3

224学研 / 道徳
224-72・224-82・224-92



● 学習指導要領との関連

(中面へ続きます)

観点	対応する内容の特色と具体例
① 総則	
<p>人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を育めるよう工夫されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 以下の内容項目の教材を中心に、発達段階を考慮し、全学年において適切に扱っている。なお、D「生命の尊さ」の項目は、全学年を通して重点的に扱っている。 <ul style="list-style-type: none"> →D「生命の尊さ」 <ul style="list-style-type: none"> 1年 「妹が生まれて」(p.18-21) ほか 2年 「ブラック・ジャック ふたりの黒い医者」(p.94-101) ほか 3年 「余命ゼロ 命のメッセージ」(p.22-25) ほか →D「感動、畏敬の念」 <ul style="list-style-type: none"> 1年 「自然の懷に抱かれて」(p.48-51) 2年 「厳かなるもの」(p.168-171) 3年 「ルリボシカミキリの青」(p.122-125)
<p>学んだことを具体的な生活に生かせるよう、豊かな心を育めるよう工夫されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 道徳での学習を日常生活に生かし、豊かな心を育むことができるよう、クローズアップを中心に工夫している。 <ul style="list-style-type: none"> 3年 「身近な生活の中で配慮したいこと」(p.71) ほか、各学年多数
<p>伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛し、個性豊かな文化の創造を図る態度を養うことができるようになっているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 我が国と郷土の伝統文化に触れる機会を多様に用意している。 <ul style="list-style-type: none"> →C「郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度」 <ul style="list-style-type: none"> 1年 「岩泉を守る」(p.68-73) 2年 「五色桜」(p.134-137) 3年 「ねぶたを夢見て」(p.62-67) →C「我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度」 <ul style="list-style-type: none"> 1年 「日本の心と技」(p.132-135) 2年 「金閣再建 黄金天井に挑む」(p.156-161) 3年 「白川郷に魅せられて」(p.134-137)

観点	対応する内容の特色と具体例
<p>公共の精神を尊び、社会及び国家の発展に努める態度を養うことができるようになってきているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養える機会を多様に用意している。 ● 1年 「町内会デビュー」 (p.84-89) ● 2年 「ヨコスカネイビーパーカー」 (p.42-47) ほか ● 3年 「未来の日本へデビュー」 (p.112-115) ほか
<p>他国を尊重し、国際社会の平和と発展や環境の保全に貢献する態度を養うことができるようになってきているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 他国を尊重する態度を養うため、国際理解、国際貢献を扱った多様な教材を各学年で取り上げ、考えが深められるように工夫している。 ● 1年 「真の国際人 嘉納治五郎」 (p.74-79) ほか ● 2年 「共に未来を」 (p.82-87) ● 3年 「もっとわかり合いたい」 (p.86-89) ほか
<p>未来を拓く主体性のある日本人の育成に資することができるようになってきているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 考えを深める4つのステップを示し、主体的な学習態度を育むよう、工夫している。 ● 各学年 「道徳科で学ぶこと 考えること」 (p.8-9) ● 教材本文の前に主題名を表示しないことにより、特定の価値観を押し付けることなく、生徒が主体的に学びを深めることができるよう、配慮している。 ● 各学年 全教材 ● 主体的に読みたくなる工夫として、タイトル下にキーフレーズを配置している。 ● 各学年に問題解決的な授業の流れを提案し、生徒が主体的に考え、判断し、意欲的に行動できるよう工夫している。 ● 2年の例 深めよう「自分の生活を見直してみよう」 (p.13) ほか多数
<p>生徒の発達の段階や特性等を踏まえ、学年間のつながりや指導内容の重点化に対応しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 同じ内容項目を扱う教材は、生徒の生活実態や発達の段階を考慮し、内容の深まりや視野の広がりなど、学年ごとに工夫している。 ● 情報モラルや多様性を扱う教材などで、生徒の発達に応じて段階的・系統的に展開する工夫をしている。 ● 情報モラルの例 <ul style="list-style-type: none"> ● 1年 自分自身 (スマホ依存) ● 2年 友人と (ネットを介した対人関係) ● 3年 社会と (発信者、受信者として) ● 多様性の例 <ul style="list-style-type: none"> ● 1年 自分自身 (自分らしさを大切に) ● 2年 友人と (互いに理解し認め合う) ● 3年 社会へ (自分らしさを生かして活躍する)
<p>② 指導計画と内容の取扱いへの配慮</p>	
<p>各教科等との関連を考慮しながら、道徳科の年間指導計画を作成できるよう工夫されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 各学年に各教科等での道徳性の育成につながる教材を用意し、関連を考慮しながら年間指導計画を作成できるように工夫している。 ● 3年の例 <ul style="list-style-type: none"> ● 「百年たっても」 (p.18-21) …社会、保健体育 ● 「アップロード ダウンロード」 (p.26-29) …技術・家庭 ● 「町工場から宇宙へ」 (p.36-39) …理科、総合的な学習の時間 ● 「私たちの夏」 (p.50-55) …保健体育、特別活動 ● 「ねぶたを夢見て」 (p.62-67) …社会、美術 ほか多数
<p>学年相互の関連、小、中、高といった学校段階の接続に配慮しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 児童生徒の発達の特質を考慮して、学年が上がるごとに系統性をもって学習がつながっていくように、配慮している。 ● 各学年 「道徳科で学ぶこと 考えること」 (p.8-9) ● 各学年 「未来への扉」 (1年 p.180、2年 p.184、3年 p.188)
<p>生徒が自らを振り返って成長を実感したり、課題や目標を見付けたりすることができるよう工夫されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 各学年巻頭に「さまざまなテーマで学ぼう」 (p.2-3)、巻末に「未来への扉」、「学びの記録」「学びのメモ」 (1年 p.180-187、2年 p.184-191、3年 p.188-195) を設け、生徒が自身の成長を振り返り、課題や目標を見付けることができるよう工夫している。

観点	対応する内容の特色と具体例
指導方法の多様化に資する学習活動を取り入れているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 主体的・対話的で深い学びを実現するにふさわしい学習活動を随所に取り入れている。 ● 多面的・多角的に学んで道徳的価値を追求する、問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習に合った教材を随所に取り入れている。 ● 話し合いや記述などの言語活動を積極的に取り入れるように工夫している。 ● 思考ツールを活用した学習活動を随所に取り入れている。
情報モラルに関する充実した指導ができるよう工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 各学年に情報の扱い方や情報を活用する際の配慮など、道徳教育の視点から情報モラルに関する考えを深められるように配慮している。 <p>1年の例 「うわさで決めるの？」(p.22-25) 「日曜日の朝に」(p.104-107) ほか</p>
家庭や地域社会との共通理解を深め、相互の連携を図ることができるようになってきているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 家庭生活や地域社会に関わりのある教材を積極的に多数取り入れている。 <p>3年の例 「思い出のオムライス」(p.14-17) 「独りを慎む」(p.68-71) 「一冊のノート」(p.72-79) 「白川郷に魅せられて」(p.134-137)</p>
多様な教材の活用に努め、生徒が問題意識をもって多面的・多角的に考えたり、感動を覚えたりするよう、工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 従来の読み物教材ではない、新感覚型の教材を充実させ、多様な観点から問題意識を喚起する工夫をしている。 <p>2年の例 「鳥のように空を飛びたい 高梨沙羅」(p.10-13) 「ごみ収集場所をどこに」(p.20-23) 「コスモスR計画」(p.28-31) 「そこにいるだけでいい」(p.64-67) 「ものづくり」(p.78-81) 「ブラック・ジャック ふたりの黒い医者」(p.94-101) 「償い」(p.152-155) 「敵かなるもの」(p.168-171) 「私は大丈夫～そんな気持ちはないですか」(p.176-179)</p>
悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題も含め、生徒が深く考えることができるようになってきているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 各学年で「自己肯定感」「認知バイアス」について取り上げ、中学生の詠んだ短歌を取り入れるなど、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等、深く考えることができるように工夫している。
③ 現代的な諸課題への対応	
人権・福祉教育への対応はなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 病気や災害等で身体や生活に不自由を抱える人々との関わりや支援、障害者理解、多様性など、さまざまな観点から福祉に関する教育を取り扱っている。 <p>1年の例 「エルトゥール号の遭難」(p.32-37) 「岩泉を守る」(p.68-73) 「いっぱい生きる 全盲の中学校教師」(p.110-113) 「公平とは何だろう」(p.114-117) 「らしさって何だろう」(p.118-123) 「ゲームから広がる可能性」(p.176-179)</p>
法教育への対応はなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 法やきまりについて、対立する意見を提示するなど、さまざまな観点から考えを深めることができる教材を用意している。 <p>2年の例 「ごみ収集場所をどこに」(p.20-23) 「キャッチボール」(p.68-71)</p>
社会参画に関する教育への対応はなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● さまざまな社会参画の例を紹介し、考えを深められるように工夫している。 <p>3年の例 「世界一厄介な問題」(p.40-43) 「もっとわかり合いたい」(p.86-89) 「未来の日本へデビュー」(p.112-115)</p>

観点	対応する内容の特色と具体例
キャリア教育への対応はなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 働くことの意味や夢をかなえた人の多様な生き方など、キャリアを多面的・多角的に捉えて自分の生き方につなげられるよう工夫している。 2年の例 「ジャッジとチャレンジ」(p.54-59) 「初めてのアルバイト」(p.60-63) 「ものづくり」(p.78-81) 「共に未来を」(p.82-87) 「三人の誓い 大山捨松」(p.88-93) 「ヒト・iPS細胞を求めて 山中伸弥」(p.102-107) 「金閣再建 黄金天井に挑む」(p.156-161) 「OriHimeがつなぐ世界」(p.172-175)
科学技術の発展と生命倫理との関係や社会の持続可能な発展など、現代的な課題に対して生徒が解決に向けて意欲をもって取り組む態度を養えるよう工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 「いのちの教育」を全学年を通じての最重点テーマとし、「生命の尊重」の内容項目に全学年で各3教材を配当している。科学技術の発展と生命倫理の関係についても扱っている。 3年 「優介の決意」(p.148-153) ほか 社会の持続可能な発展については、関連する教材を複数時間扱いで多角的に活用する指導もできるよう配慮している。 ユニット 「持続可能な世界のために」 3年の例 「赤道直下にすむマウンテンゴリラ」(p.32-35) 「町工場から宇宙へ」(p.36-39) 「世界一厄介な問題」(p.40-43)
食育、健康教育への対応はなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 食育や健康について扱っている教材を複数用意し、道徳的観点から食や健康についての考えが深められるように工夫している。 2年の例 「鳥のように空を飛びたい 高梨沙羅」(p.10-13) 「リンゴが教えてくれたこと」(p.164-167)
防災教育への対応はなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災、熊本地震などに関わる教材を用意し、自分との関わりで考えられるように配慮している。 2年の例 「熊本地震 被災地支援 SNSが威力」(p.47) 「未来に響け “復興輪太鼓”」(p.138-141) 「群青の絆」(p.142-143) 「私は大丈夫～そんな気持ちはないですか」(p.176-179)
スポーツを題材とする教材を扱っているか。	<ul style="list-style-type: none"> 各学年で、オリンピックやパラリンピックで活躍する人々など、スポーツを題材とする教材を多数取り入れている。 3年の例 「二人はライバル」(p.126-129) 「スポーツの力」(p.166-171) 「『血の通った義足』を作りたい」(p.172-175) 「未来に向かって」をテーマにユニット教材を用意し、多面的・多角的に生き方に関する考えを深められるように工夫している。 1年の例 「イチローの軌跡」(p.142-145) 「認められたグラブ」(p.146-151)
④ いじめ問題への対応	
「いじめ問題」への対応はなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> いじめ防止を多面的・多角的な視点から、年間を通して自分との関わりで考えを深めるために、さまざまな内容項目の教材を用意している。 1年の例 「うわさで決めるの？」(p.22-25) 「裏庭での出来事」(p.42-45) 「どうしてそんなことをするのか」(p.127) 「クラスメイト」(p.136-139) 「吾一と京造」(p.158-163) ほか

● 教育基本法 (第2条) との関連

教育基本法第2条	対応する内容の特色と具体例
<p>幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。(1号)</p>	<p>道徳の目標、学習内容の基盤をなすものであり、知識・教養の習得、真理の追求に意欲的に取り組み、情操豊かに道徳心を培い、健やかな心身を養う心構えとなるように、巻頭や特設ページをはじめ、さまざまな箇所に配慮と工夫を施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 巻頭のオリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> → 全学年とも「さまざまなテーマで学ぼう」(p.2-3) 「道徳科で学ぶこと 考えること」(p.8-9) ● 随所に設けた特設ページ <ul style="list-style-type: none"> → 1年 「知ることから始めよう～人数から見える世界～」(p.89) ほか、各学年多数
<p>個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。(2号)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 教材本文の適所に配した脚注文 <ul style="list-style-type: none"> → 1年 「自然の懐に抱かれて」(p.48-51) ほか、各学年多数 ● 道徳の学習内容そのものであり、以下の内容項目の教材を中心に、発達の段階を考慮し、全学年において適切に扱っている。 <ul style="list-style-type: none"> → A 「自主、自律、自由と責任」 1年 2教材、2年 2教材、3年 2教材 → A 「向上心、個性の伸長」 1年 1教材、2年 1教材、3年 1教材 → C 「勤労」 1年 1教材、2年 1教材、3年 1教材
<p>正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。(3号)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 道徳の学習内容そのものであり、以下の内容項目の教材を中心に、発達の段階を考慮し、全学年において適切に扱っている。 <ul style="list-style-type: none"> → A 「自主、自律、自由と責任」 1年 2教材、2年 2教材、3年 2教材 → B 「思いやり、感謝」 1年 2教材、2年 2教材、3年 2教材 → B 「友情、信頼」 1年 3教材、2年 2教材、3年 2教材 → C 「公正、公平、社会正義」 1年 2教材、2年 1教材、3年 2教材 → C 「家族愛、家庭生活の充実」 1年 1教材、2年 1教材、3年 1教材 → C 「よりよい学校生活、集団生活の充実」 1年 2教材、2年 2教材、3年 1教材
<p>生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。(4号)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 道徳の学習内容そのものであり、以下の内容項目の教材を中心に、発達の段階を考慮し、全学年において適切に扱っている。なお、D 「生命の尊さ」の項目は、全学年を通して重点的に扱っている。 <ul style="list-style-type: none"> → D 「生命の尊さ」 1年 3教材、2年 3教材、3年 3教材 → D 「自然愛護」 1年 1教材、2年 2教材、3年 1教材
<p>伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。(5号)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 道徳の学習内容そのものであり、以下の内容項目の教材を中心に、発達の段階を考慮し、全学年において適切に扱っている。 <ul style="list-style-type: none"> → C 「郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度」 1年 1教材、2年 1教材、3年 1教材 → C 「我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度」 1年 1教材、2年 1教材、3年 1教材 → C 「国際理解、国際貢献」 1年 2教材、2年 1教材、3年 2教材

● 学習を支える内容上の配慮と工夫

観点	対応する内容の特色と具体例
① 構成・配列	
教材は、学習指導要領の内容をもれなく扱い、目標を達成できるように構成されているか。	● 学習指導要領の内容をもれなく扱い、目標を達成できるように、各学年で教材を適切に構成した。
生徒が興味・関心をもって学べるように、心を引き込む教材が充実しているか。	● さまざまな分野で活躍する、今を生きる人たちに関係する教材や、人生の足跡からたどる学びの宝庫である先人たちに関係する教材など、生徒が興味・関心をもって学べるように、心を引き込む教材を多数掲載している。
教材の配列は、生徒の発達の特質に配慮すると共に、系統的な学びが展開できるように工夫されているか。	● 生徒の発達の段階を踏まえた教材を用意している。教材内容の深まり、視野の広がりなど、さまざまな点を考慮した配列を行っている。
② 表記・表現	
文字の大きさ、書体は適切か。	● 生徒の発達の段階に応じて、文字の大きさ、字体や行間に配慮している。
生徒に読みやすくわかりやすい表記・表現か。	● 中学校で学習する漢字や固有名詞にふりがなをつけるなど、漢字の学習状況に関わらず、読み進めることができるように配慮している。
図や写真などの意図が明確で、適切に活用できるように置かれているか。	● 図表や挿絵、写真の配置は、視覚的に捉えやすいよう、本文との関係性に配慮している。
③ 特別支援とユニバーサルデザイン	
特別支援教育の観点から、視覚上の配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● フォントは、大きく、見やすい書体（ユニバーサルフォント）を使用している。また、見出しや本文は、生徒の立場に立って、平易で理解しやすく記述している。 ● レイアウトの工夫により、学習展開を考慮して、余白を適度に確保したゆとりある紙面構成になっており、見やすく、わかりやすくなっている。 ● わかりやすいマークを適宜配置し、生徒が理解しやすくなっている。
視覚特性の観点から、カラーユニバーサルデザインへの対応がなされているか。	● カラーユニバーサルデザインに完全に対応している。

● 印刷・造本

観点	対応する内容の特色と具体例
生徒にとって魅力的な造本となっているか。	● 道徳は、挿絵や写真、図版などを活用することで学びが深まる教科であるため、A B判の判型を採用し、生徒の感性や学習意欲に訴えかけるよう、工夫している。
印刷は鮮明で見やすいか。	● 印刷は鮮明である。全ページカラー刷りで、色彩は目にやさしくソフトに仕上げている。
製本は堅牢か。	● 製本は無線綴で開きやすく、特殊加工により堅牢である。
環境やアレルギーに配慮した素材を用いているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境に配慮して作成された紙、植物油インキを使用し、環境負荷の小さいC T P方式で印刷している。 ● 目への負担が少ない色調の用紙を選択している。